

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①「小中一貫教育」で目指す子どもの姿/厚真町教育委員外部評価委員会を開催
- ②健康ふれあいマラソン
- ③厚真中学校1年生校外学習/上厚真小学校防災の日
- ④スマホ所有率/令和2年度厚真町文化祭の中止について/定例教育委員会/宮の森こども園園庭整備
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

「小中一貫教育」で目指す子どもの姿

あつまの未来を語る子

～思いをつなぎ 未来を拓く～

★中学3年生までに重点的に育みたい力★

① つなぐ力

人と人、人と自然、過去と現在と未来…自分と自分の身の回りの環境（人、モノ、コト、情報…）の良好な関係性を築いていく力、社会に適応する力とも言えます。

② ^{ひら}拓く力

「拓く」とは、本来「土地を切りひらいていく」ことを意味する言葉ですが、この言葉には直面する課題に自ら果敢に挑戦（チャレンジ）し、解決していくという意味が込められています。「課題解決力」「課題適応能力」とも言えます。

厚真町が推進する「小中一貫教育」では、最終年度の中学3年生で「ふるさとの未来や自分の将来について深く考え、力強く語ることができる」ことを目指します。学校や家庭だけでなく町民の皆さんとともに「目指す姿」を共有しながら、教育活動を進めてまいります。

厚真町教育委員会外部評価委員会を開催

7月17日と8月25日の2日間にわたり厚真町教育委員会外部評価委員会が開催され、教育委員会所管の10事務事業について点検・評価を行いました。同委員会は厚真町教育委員会から委嘱（任期2年）を受けた4人の委員で組織され、同委員会で取りまとめられた評価に対する意見書は9月開催の第3回町議会定例会で報告され、町ホームページにも掲載されます。



意見書を遠藤教育長（右）に手渡す野澤委員長（左）

厚真町教育委員会外部評価委員会

（令和2年4月1日～令和4年3月31日まで）

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 野澤政博さん |
| 副委員長 | 伊藤美弥子さん |
| 委員 | 佐藤耕一さん |
| 委員 | 日野竜馬さん |

第20回健康ふれあいマラソン大会

◆◆◆ 感染症対策を徹底した上で開催します ◆◆◆

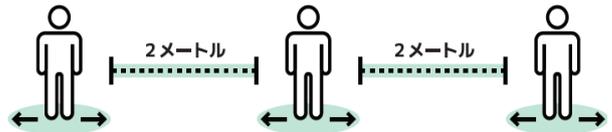
日 時 令和2年10月18日(日)

※マナビィカレンダーでは10月3日(土)となっておりますが変更になりました。

時 程 9:00~9:30 受付(時間厳守)
9:30 開会式
10:00 スタート(予定)

ソーシャルディスタンス

準備ができたなら距離をとって順番に並んでスタートを待ちます。



場 所 厚真町スポーツセンター周辺道路

参加資格 厚真町民および厚真町内に職場を有する方

参加申込 一般とウォーキングの部は**10月2日(金)**までに下記あてに電話でお申し込みください。

※今年はウォーキングの部も事前申し込み制とします。当日参加はできませんので注意してください。

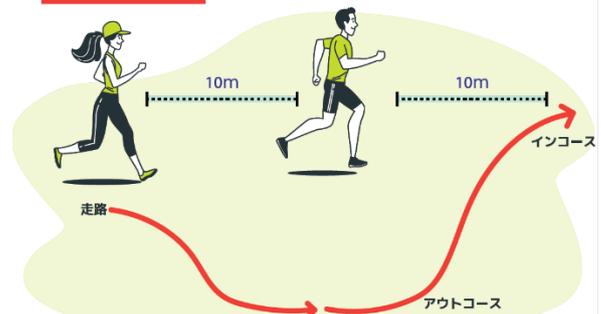
《申込み・問合せ先》 厚真町スポーツセンター(生涯学習課社会教育G)

TEL (0145) 27-3775

追い抜きルール

原則インコースを走行し、追い抜きは一番アウトコースから

参加部門 小学生の部 男・女(3km)
中学生の部 男・女(男5km、女3km)
一般の部 男・女(男5km・女3km)
ウォーキングの部(未就学児と保護者)(3km)



追い抜きの際は、前のランナーとの距離に気を付けてください。

表 彰 部門ごとに男女別各上位3位までの方を表彰
※ウォーキングの部の表彰はありません。
※参加者全員に参加賞を贈呈

そ の 他 大会中に発生した事故への対応については、主催者側が加入する保険の範囲内の保証を限度といたします。

＜新型コロナウイルス感染症に関わる留意事項＞

- (1) 密集を避けるため、スタートを数回に分けて実施します(参加人数により組数を決定)。
- (2) 大会当日は選手、役員、保護者全員がマスクを着用してください。走行時は外しても構いません。
- (3) 観戦は保護者のみに限ります。野球場内に入って観戦を希望する場合は、学校から配布されるお子さんの申込用紙に記入して申し込んでください。
- (4) 会場入場時にサーマルカメラ等による体温測定を実施します。高体温の場合は次のとおり対応します。
 - ①37.0℃を超える場合は、保健師と参加についての相談を行います。
 - ②37.5℃を超える場合は、参加することができません。
 ※大会役員、保護者も同様の扱いとします。
- (5) 入場受付に手指消毒液を設置しています。必ず入退場時に手指消毒をしてください。
- (6) 開会式は実施しますが、2mの距離を保ってください(マーキング有り)。
- (7) 閉会式は行いません。競技・表彰が終了次第、各自解散となります。
- (8) 国及び北海道からの緊急事態宣言等が発出された場合は、中止となります。

厚真中学校1年生校外学習 整理事務所を見学

8月28日（金）に厚真中学校1年生22人、引率教員6人がスローガン「28人の愛心」と目標を掲げ、大沼野営場で校外学習を実施しました。目的地大沼野営場へ向かう途中、厚真町のことについて理解を深める学習の一環として軽舞遺跡調査整理事務所を訪れました。

生徒たちは、厚真町の地層標本や教科書に出てくる縄文土器、黒曜石の石器を手にとって観察したほか、特別収蔵庫内の中世アイヌ文化期（鎌倉時代相当＝約700年前）のアイヌ民族の首飾りや腕輪など貴重な出土品も見学し、ふるさと厚真の歴史を楽しく学びました。

厚真町の文化財を教材とした学習をとおして、素朴な疑問と新たな発見を糧に新たな学びへの意欲につながっていくことと思います。

軽舞整理事務所では、学校や職場、各種団体、仲間たちでの研修など、学芸員の解説つきで案内しておりますので、ぜひ、お気軽にご利用ください。



問い合わせ

軽舞遺跡調査整理事務所 ☎28-2733

上厚真小学校防災の日 5年生が日高幌内川大規模崩壊地を見学

北海道胆振東部地震の発生からほぼ2年が経つ、9月4日（金）「上厚真小学校防災の日」の一環として同校の5年生13人が、日高幌内川の大規模地すべり崩壊地の見学を行いました。

現地までのバス車内では、役場まちづくり推進課で復興計画づくりを指導する小山主幹から、厚真町の復旧・復興事業について説明がありました。その後、投げかけられた“これからの厚真町”に関する質問に、児童からは様々な意見があげられました。

現地の日高幌内川では国土交通省北海道開発局厚真川水系砂防事業所の本郷調査係長から、災害復旧工事についての説明を受け、続いて町教委学芸員の案内で大規模崩壊地を見学しました。崩壊地で大きな岩や土砂が広大にむき出している光景を目の当たりにした児童等は、地球のエネルギーの大きさを体感し、声をだして驚いていました。

今回の防災学習をとおして、防災・減災や町の復旧・復興の現状について、理解を深める機会となりました。



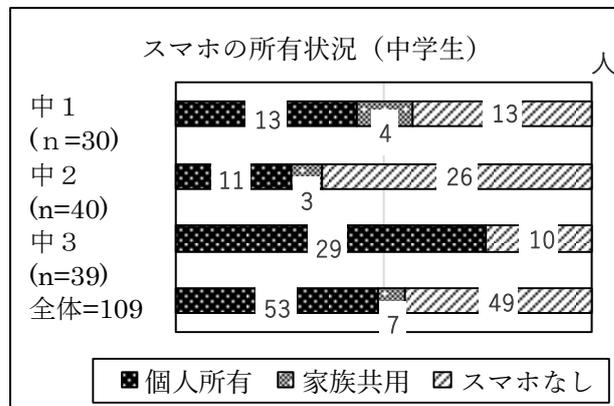
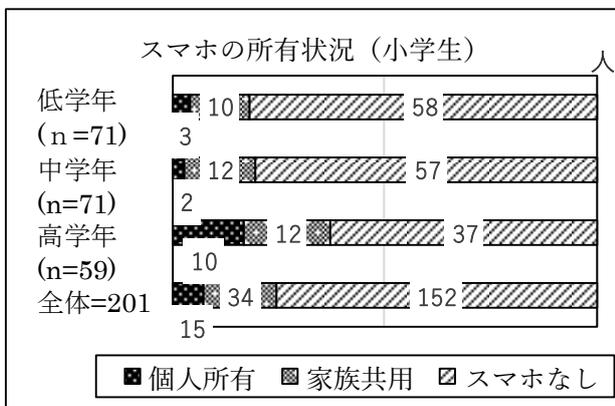
開発局職員による災害復旧工事の説明



大規模崩壊地で300m以上動いた山を見学

スマホ所有率 小学生は7% 中学生は49%

情報端末（スマホ、携帯、ゲーム機等）の利用状況を把握し、学校での生活指導、学習指導の参考にするとともに、厚真町のアウトメディア運動の検証等に活用するため、7月に小・中学生の保護者を対象に情報端末利用状況等アンケートを実施しました。3年前と比べて、小学生全体のスマホの所有率は、3%減の7%（210人中15人所有）で横ばい、中学生全体の所有率は19%増の49%（109人中53人所有）でした。



令和2年度厚真町文化祭の中止について



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、11月3日（火・祝）、4日（水）に予定しておりました令和2年度厚真町文化祭は、中止とすることが決まりましたので、お知らせいたします。

問い合わせ
教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495

8月定例教育委員会

8月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項◆

ICT教育研修会について/厚真町防災学習企画担当者研修会について /令和元年度会計決算審査について/放課後子ども教室・あつま土曜学校夏休み特別教室について（ほか4件）

◆議案◆

令和3年度使用教科用図書の新採択について

◆同意◆

厚真町教育委員会表彰について

◆協議事項◆

教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

◆その他◆

教育委員学校訪問について

★問合せ★

教育委員会学校教育グループ ☎ 27-2494

宮の森こども園園庭整備

8月31日、9月1日の2日間、厚真町教育委員会が進める「冒険の杜整備事業」の一環として、宮の森こども園の園庭整備を行いました。この取組は、同こども園と併設している上厚真放課後児童クラブが連携し、「子どもが自ら育つ環境づくり」を目指し進めているものです。

今回は、児童クラブとこども園の職員と一緒に既存遊具の危険性や安全対策等について検討を行った後、ロープブランコや高さの異なるステージ、屋台等を制作しました。今後も隣り合う施設ならではの利点を活かして、子どもたちが共に育つ場づくりを進めていきます。



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

本・雑誌の取り扱いについてのお願い

9月に行った蔵書点検作業中に、ページの間に溶けた飴がはさまっている本を発見しました。その本はもう読むことはできませんので、除籍処分することになってしまうのですが、他にも、食べかすがはさまっていたり、明らかにコップを置いたと分かるシミがついていたりする本もいくつかありました。

図書室の資料は、利用者の皆さんと一緒に使うための公共の本です。本や雑誌は大事に扱えば何年たっても十分に活用できる資料です。「次に読む人」のことを考えて図書室の本や雑誌を読んでいただくようお願いいたします。また、ご家庭でもお子さんに「図書室の本はみんなのもの」なので、「カいっぱいページをめくらない」「絵や文字を書き込まない」など、本に対する思いやりや大事に取り扱う大切さについてご指導をお願いします。

新刊本の紹介

《小説》

首里の馬 高山羽根子／著 ※芥川賞受賞作
毒島刑事最後の事件 中山七里／著
スパイはいまも謀略の地に ジョナル・カレ／著

《一般書》

羽生善治の脳トレ手詰 羽生善治／著
子どもにいいこと大全 主婦の友社／編
野村克也からの手紙 野村克也／著

《児童書》

ぼくだけのぶちまけ日記 スーザン・ニールセン／著
ますくちゃん でばんです よこみちけいこ／さく
やさいだいすきだワニ タム・ニュー／文・絵

■10月の休館日

10月の休館日はありません

引き続き



感染症拡大防止に

ご協力をお願いします

- ・マスクの着用
- ・手や指の消毒
- ・ソーシャルディスタンス

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時 (火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

10月のおはなしのびっこは 22日(木)10時30分開始
場所は青少年センター図書室絵本コーナーです。

☆放課後子ども教室☆

北海道としては珍しい残暑。いささか暑さ疲れが身にこたえる9月の始まりでした。お盆も過ぎたことだし、そろそろ涼しくなってくれても良い頃だろうと思う一方、寒くなれば寒くなったで、暑さを恋しく思うのは、人のわがままですね。

短い夏休みが明けました。子ども教室も学校の始業に合わせて、8月19日（水）から2学期の通常教室が始まっています。夏休み明け最初のプログラムは、子どもたちからのリクエストも多かったプール遊びとなりました。「ただいまー！」と帰ってくる子どもたちの手には、しっかりとプール道具が握られています。上厚真小では新しいプールが完成し、これまではなかった浅いプールが新調されていました。泳ぎが苦手な子や、まだ体の小さい低学年の子も、浅いプールであればオニゴッコをしたり、ビート板を使って泳いだりすることができるようになり、遊びの幅が広がったと思います。今年は8月になっても気温、湿度共に高かったので、プールで遊ぶには最高の環境でした。例年、低学年や体脂肪の低い子どもだと、水温や外気温の低さで、途中プールから上がってしまう子もいるのですが、今年は休憩をはさみつつ、長時間にわたってプール遊びを満喫することができました。

8月後半から9月前半にかけてのプログラムでは、ドッジボールやティーボールなどのスポーツや、貝殻を使ったキャンドルホルダー（燭台）づくりを行いました。キャンドルホルダーの材料には、浜厚真海岸で拾い集めてきた北寄貝の殻を使いました。マジックペンで色をつけたり、絵を描いたり、スパンコールをボンドで貼って飾りつけたり、思い思いに制作を楽しみました。9月6日で北海道胆振東部地震の発災から2年を迎えるにあたり、手作りのキャンドルホルダーとろうそく（今回はろうそく型のライトを使用）の優しい灯りで、心和んでもらえればと企画しました。子どもたちからは、「さっそくおうちで使い、家族みんなが『キレイだね』と喜んでくれた」という声も聞きました。子どもたちとご家族の方々が、ひと時でも温かい気持ちで過ごしてくれていたら、とてもうれしいです。

